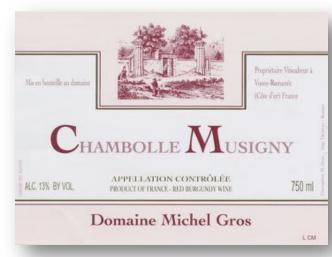


Grape Variety: Pinot Noir



2019年のヴィンテージについて

冷涼な春に続き、暑く乾燥した夏が訪れた2019年の 収穫は、タイミング的には一般的な9月下旬の日程にと どまり、ブドウの熟度と凝縮度においては特筆すべき水 準に達しています。

2018年~2019年にかけての冬は類稀な穏やかな 気候で、凍結や霜は殆ど見られないほどでした。そのた め3月末にはブドウの樹々は早くも息吹の気配を感じさ せ始めました。強運なことに4月、5月はむしろフレッ シュな気候たっだので、芽吹きのタイミングやその後の 成育速度は修正され、6月15日頃に開花のピークを迎 え、9月25日前後に収穫になるだろうと言われました 。開花のタイミングはまちまちで、雷雨の影響で花が落 ちてしまったり、所々結実に至らない果粒を含むミルラ ンダージュの房がつきました。しかし、開花期を過ぎる と好天に恵まれ、ブドウはぐんぐん育ち、葉や枝が茂っ ていきました。7月、8月は暑くて乾燥していましたが 、7月末の雷雨が水不足のストレスからブドウを守って くれたので、成長障害を起こすようなこともありません でした。8月末にブドウは熟し始め、その数週間先まで の天候予測を見たとき、当初9月23日に予定していた 収穫を、ほぼ一週間早めることを決断しました。9月に 入るととても暑くなり、ブドウの熟度は目に見えて進ん でいきました。

収穫は9月17日に開始し、27日にオート・コートで終了しました。2018年と同様に醸造所に運び込まれたブドウは非の打ちどころなく健全で、選果はほとんど必要ありませんでした。残念だったのはコート・ド・ニュイでは、2018年の収穫量に比べて約3分の1ほど減少してしまったことです。これには微妙な開花期と夏の雨量の少なさが要因に挙げられます。

賞賛に値すべき熟度、完璧なる健全さ。そのようなブドウから醸されたワインは、リッチであると同時にピュアでフレッシュさがあり、見事なバランスになっています

2019年を過去のヴィンテージと比較するなら、20 15年や2018年の太陽の年、完熟に達したブドウの 持つ光や輝きを感じさせるワイン、充実した酒質がしな やかにタンニンを包み込み、味わいの凝縮が傑出してい る年と言えるでしょう。

Press review :

BURGHOUND.COM
To allested trappeds reference Allen Meadows, 10/01/2021, Issue 81

Reduction knocks down the nose today but there is good freshness and zip to the finer middle weight flavors that are at once sleek and delicious while displaying evident minerality on the dusty and slightly angular finish where a touch of rusticity appears. This is quite firm and will need at least some patience to become more approachable.